

**平成12年
鳥取県西部地震の記録**

鳥 取 県

発刊にあたって



平成12年10月6日午後1時30分、鳥取県西部を震源とする「鳥取県西部地震」が発生し、境港市、日野町の震度6強など、県西部地域を中心に、大きな地震が発生しました。

この地震では、幸いにして、死者はありませんでしたが、負傷者141名、1万6千棟を越える住宅の損壊など、大災害となりました。

この地震による被害を受けられた方々に対し、心からお見舞い申し上げるとともに、また、各方面からいただいた、温かなお見舞い、力強い御激励に対し、厚くお礼申し上げます。

鳥取県では、この災害での体験を教訓に、より安全な県土を築くため、復興に全力を挙げるとともに、防災体制の充実・強化を図り、県民生活の安全確保には最大限の努力を行ってきたところですが、よりいっそうの努力を積み重ねていく所存です。

本書は、この災害の実態を、永く記録にとどめ、今後の防災対策の一助とするため、これまでの経過、施策、措置等について概要をとりまとめたものです。

この記録が、関係各位の今後の災害対策にいささかでも参考になれば幸いです。

終わりになりますが、災害対策、災害復興に御支援、御協力いただいた関係機関各位に心から感謝の意を表しますとともに、本書の刊行に際し協力いただいた各機関の方々に、厚くお礼申し上げます。

平成13年10月

鳥取県知事 片山善博



瓦がはがれたり、屋根が壊れたため、雨を防ぐためのシートがかけられた住宅（日野町）
（日本海新聞）



(日野町)



(西伯町)



(境港市)

住宅の被害状況



崩落した岩石によりふさがれた県道日野溝口線
停車中の車の運転席・助手席を直撃したが、後部座席にいたため無事であった。



地盤がずれ、外れてしまった橋（西伯町）



一般県道日野溝口線における道路亀裂（溝口町）



一般国道180号における法面崩落（日野町）



主要地方道岸本江府線における路肩崩壊と道路亀裂（江府町）



住宅の裏山の崩落（西伯町）



日野町下黒坂地区 地滑りによる崩落



境港 昭和南-13m岸壁の段差



境港臨海道路の液状化



境漁港 約120mにわたり湾曲したかにかご岸壁



東へ移動した市場支柱



市場内の亀裂（長さ100m、幅0.4m）



竹内工業団地内 液状化で噴出した土砂と道路の損傷（境港市）



液状化による沈下で変形した建物



校舎の柱などに多数の亀裂が入り半壊状態となった会見小学校



国指定重要文化財 後藤家住宅
蔵の壁の剥落、土壁の崩壊（米子市）



崩落した土石によってふさがれたJR伯備線と道路（日野町）
（山陰中央新報 平成12年10月9日）



収穫を目前に控えた梨
(新興)の落下(会見町)

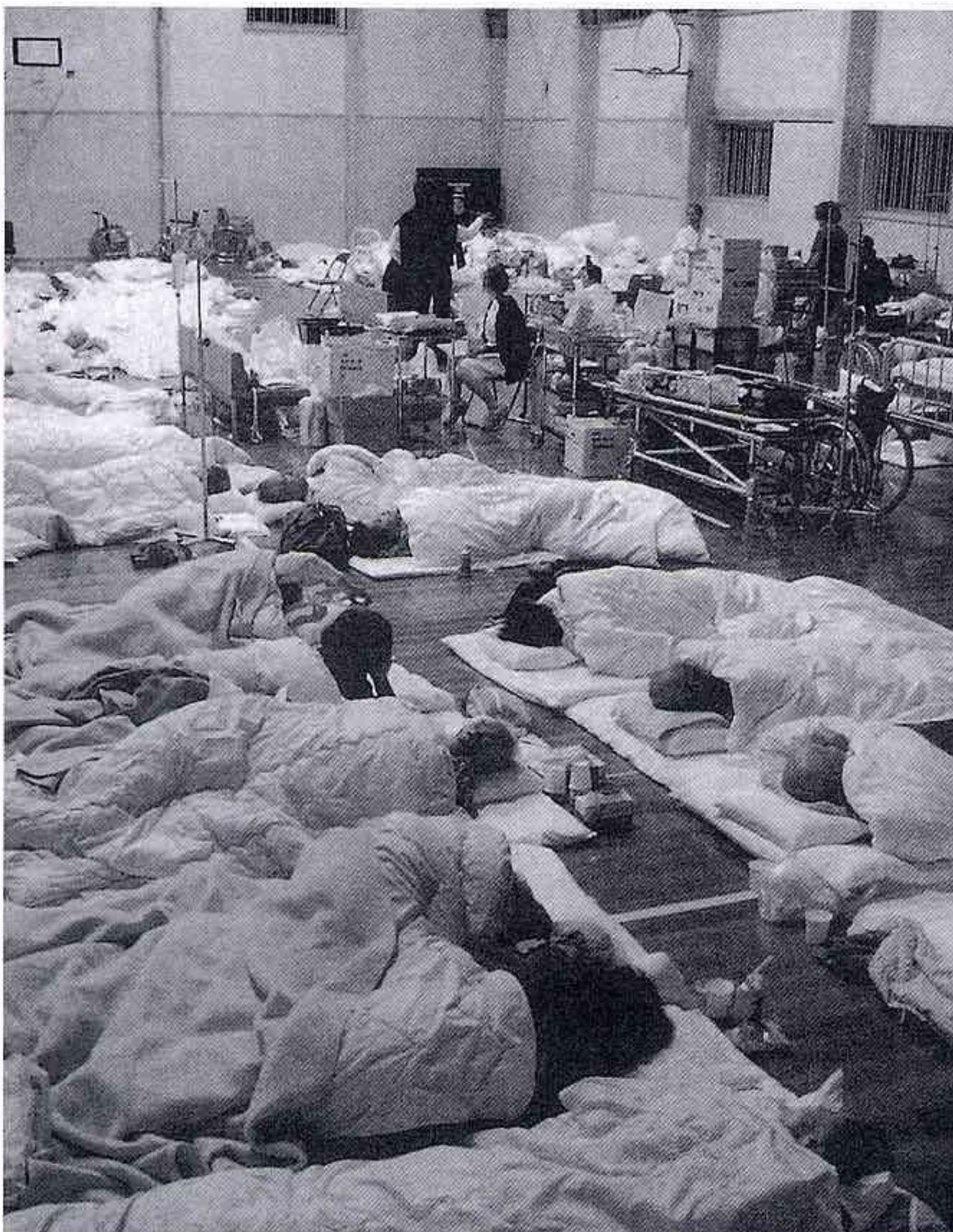
液状化による被害を受けた
白ネギ畑



液状化により陥没した
ニンジン畑



日野町内の中学校に避難した人々



体育館に避難した日野郡内の病院の入院患者（日本海新聞）



炊き出しをする自衛隊
(日野町)



簡易風呂による
入浴サービス(日野町)



液状化した道路の土砂
を撤去する自衛隊
(境港市)



給水車による給水活動（日野町）



避難所での医療班の活動



消防防災航空隊による鳥取市から被災地への弁当の搬送



警察コスモス隊 避難所を訪問し、相談を受け付ける隊員



西伯町出前説明会（山陰中央新報社提供）



町民からの被害状況や相談を受け付ける職員（西伯町役場）



崩壊した住宅の壁や瓦を運び出すボランティア(日野町)
(山陰中央新報社提供)



避難所で託児サービスをするボランティアセンターのスタッフ(日野町)



情報収集にあたる溝口町職員



シート張りをするボランティア（西伯町）



仮設住宅（日野町）



皆生温泉で行われた「元気いっぱい！鳥取県」宣言（米子市）